

食品中の放射性物質について知ろう

保護者の皆様へ

2011年3月、東京電力福島第一原子力発電所の事故により不安を感じた方もいらっしゃると思います。7年が経過し、現在では、生産者をはじめ関係者のご努力等により、食品中の放射性物質は低減され、流通している食品は安全なレベルが保たれています。

食品の安全を確保するための基準値や基準値が守られていることを確認する検査、そして各種調査結果の正確な情報に触れていただきたいと思います。

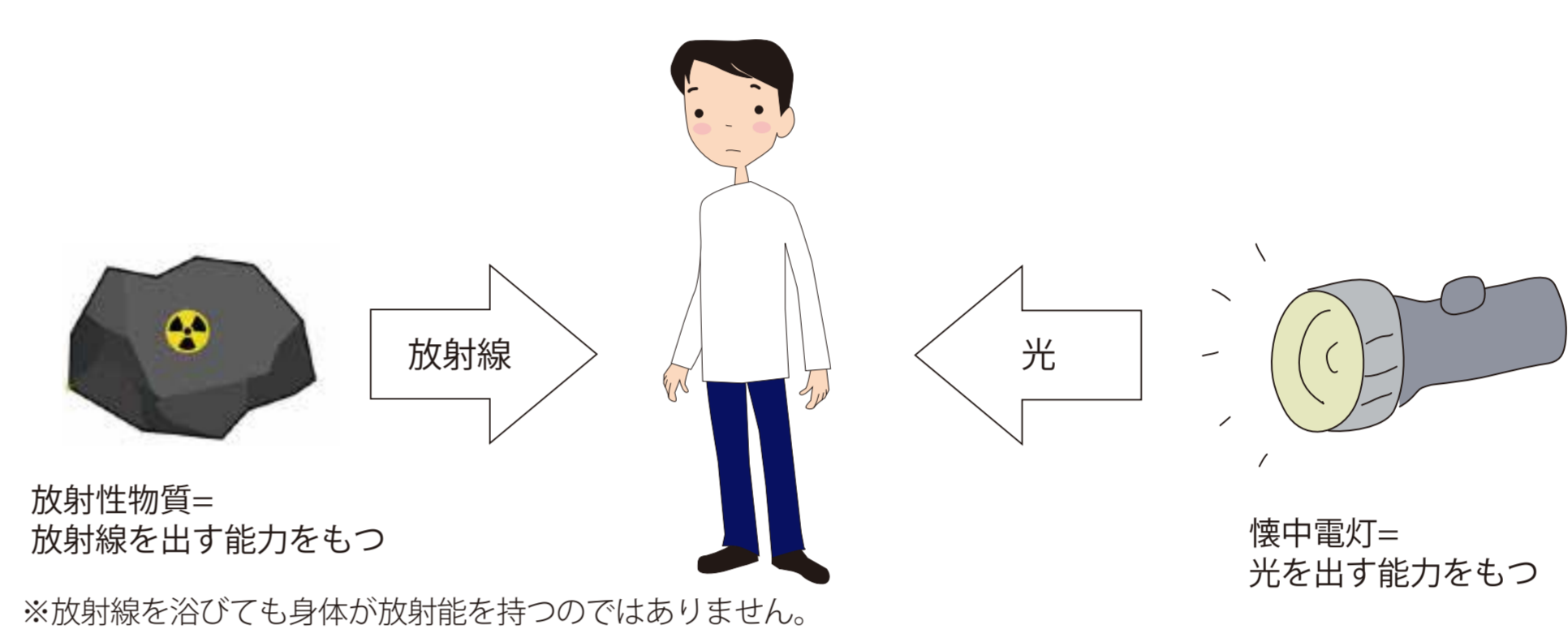
放射線と放射能ってどうちがうの？

放射線は目に見えないけれど、すごく高いエネルギーをもっているんだ。放射能はこの放射線を出す力。この力をもったものが放射性物質だ。放射性物質が放射線を出す力を「ベクレル」、人がうける放射線の影響を「シーベルト」という単位で表すんだ。

もともと宇宙や地球にはたくさんの放射性物質があるんだ。人は空からも地面からも放射線をうけているんだ。

じつは食べものには、もともと自然の放射性物質が入っていて、だれでも昔から1年に約1ミリシーベルト*の放射線をうけているんだよ。

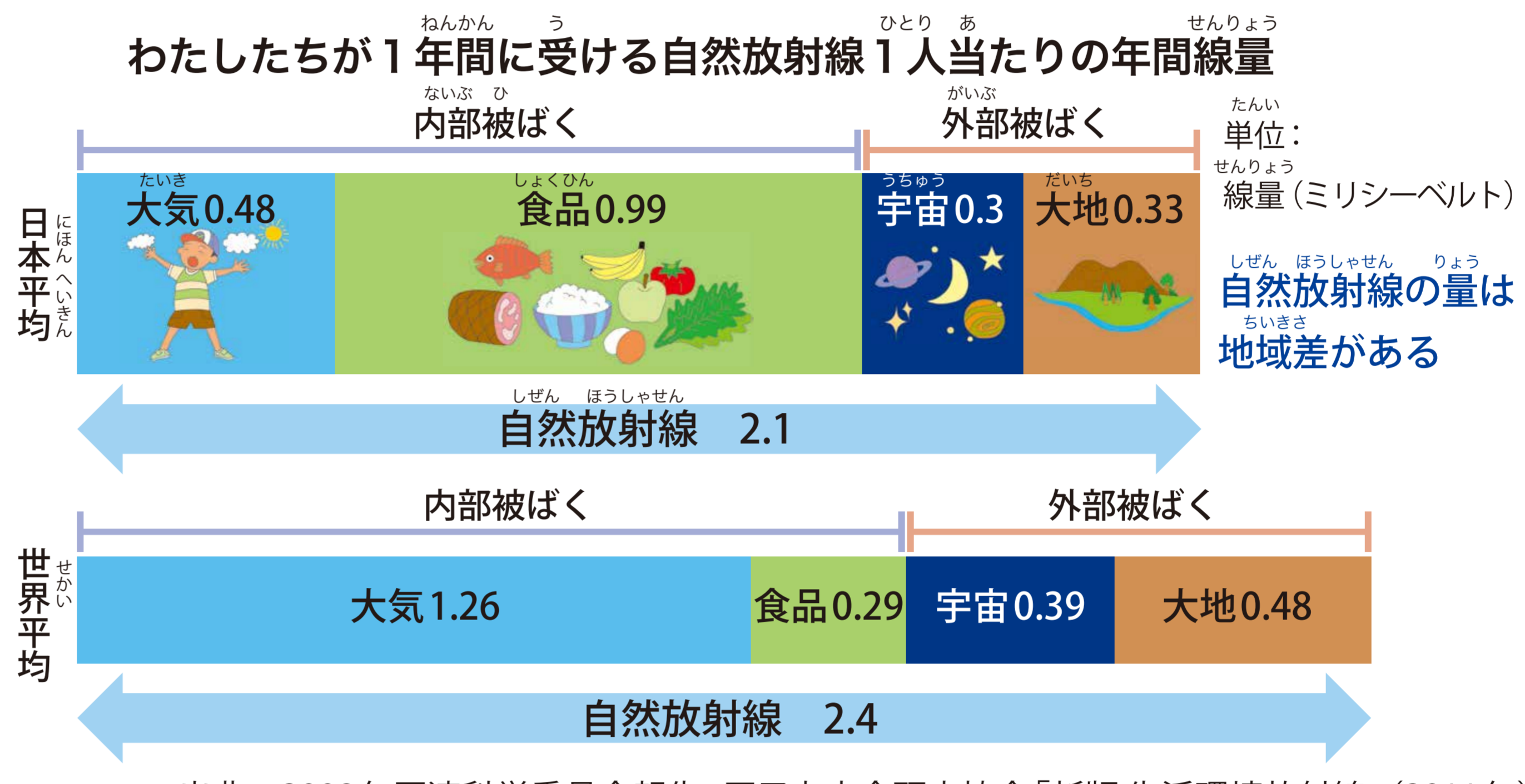
*ミリは1000分の1といういみ



放射線を出す力を表す単位=ベクレル (Bq)
放射線が人に与えるえいぎょうを表す単位=シーベルト (Sv)



8



食べものの中の人工の放射性物質にはどんなルールがあるの？

日本のお店で売っている食べものや飲みものは、放射線で体のぐあいが悪くならないように、入っている人工の放射性物質の量が、この数字より少ないものしか売ってはいけないというルールがあるよ。

7

放射性セシウムの基準値

食品群	基準値 (ベクレル/kg)
飲料水	10
牛乳	50
乳児用食品	50
一般食品	100

食べものの中の人工の放射性物質はどのくらい？

農家の人は、田畑の放射性物質を取り除く、米や野菜を作るときに肥料を入れる、牛には放射性物質の量をしっかり管理したエサを食べさせるなど、わたしたちの食べものに放射性物質がたまらないように工夫しているよ。

こうして、人が作ったり育てたりしている食べものは、ルールが守られていて、食べものの中の人工の放射性物質はへっているよ。

お店で売られている食べものを買って調べたら、食べものに入っている人工の放射性物質から1年間に受ける放射線量はほんのちょっと。自然の放射性物質やルールで決めた量よりもずっと少なかったよ。

食品中の放射性物質から受ける放射線量

(ミリシーベルト/年)

地域	放射性セシウム	
	H24年2-3月	H29年2-3月
福島県 (中通り)	0.0066	0.0010
埼玉県	0.0039	0.0009
大阪府	0.0016	0.0007

